

平成30年度 いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

鹿嶋市 解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	2018年(平成30年)6月1日現在の鹿嶋市の人口は、67,550人で約 67,600人 です。(出所:茨城県常住人口調査結果報告書)	3
2	鹿嶋市の頭文字「カ」の図案化で、鹿島灘の波頭をアレンジし、市の躍進・発展と市民の融和・団結を象徴したものです。1966年(昭和41年)に一般公募し、同年11月に選定しました。ちなみに1は潮来市旗、2は銚田市旗、3は神栖市旗です。	4
3	祭頭祭 は、毎年3月9日に行われ鹿島地方に春を告げ、豊かな実りと平和を願う祭です。歌に合わせ、色鮮やかな衣装を身につけた人たちが、6尺(180センチメートル)の檜(かし)の棒を組んでは開きながら神宮の参道をねり歩く勇壮な祭です。	1
4	茨城県栽培漁業センター は平成7年(1995年)にオープンし、安定した漁業経営を目指し、業界資源を増やすために5種類の稚魚・稚貝(ヒラメ、ハマグリ、カキなど)を卵から人工的に育てて放流しています。施設では、生産過程や魚介類の成長の様子などを見学することができます。	2
5	固形燃料を意味するRefuse Derived Fuel の頭文字をとった RDF という乾燥した固形燃料を作っています。	4
6	鹿島港(かしまこう)は、茨城県鹿嶋市、神栖市にまたがる太平洋に面した港湾です。鹿島港は、鹿島灘と北浦に挟まれた砂丘をY字形に掘り込んで建設された掘込式港湾で、1969年(昭和44年)に開港しました。	2
7	塚原ト伝(つかはら ぼくでん)は、日本の戦国時代の剣豪、兵法家です。父祖伝来の鹿島古流(鹿島中古流)に加え、天真正伝香取神道流(てんしんしょうでんかとりしんとうりゅう)を修めて、 鹿島新當(当)流 を開きました。	3
8	「ごさい漬」は、茨城県の南東部の鹿島地方に伝わる郷土食です。 ダイコン をスライスし、塩もみし、塩漬けの秋刀魚(さんま)や鰯(いわし)を交互に敷いて漬け込んだものです。今では、秋刀魚が多く使われます。	1
9	鹿嶋市では、市民へ情報を届ける「エフエムかしま」というラジオ放送局があります。周波数は、 76.7メガヘルツ で、市民に役立つ情報を提供しています。	2
10	鹿島神宮は、伊勢神宮、香取神宮とともに、明治維新前に「神宮」を名称に使用していた三社のうちの一家です。祭神の 武甕槌命(たけみかづちのみこと) は、経津主命(ふつぬしのみこと:香取神宮祭神)とともに国土を平定したとされています。	4
11	ジーコは、1990年(平成2年)ブラジルのスポーツ担当大臣をしていましたが、1991年(平成3年)に将来のプロリーグ参加を表明していた日本サッカーリーグ2部の住友金属工業蹴球団(現在の鹿島アントラーズ)のオファーを受けると大臣を辞任し現役復帰し、1994年(平成6年)まで鹿島アントラーズで活躍しました。ジーコ像は、スポーツセンターとショッピングセンターチェリオ内の 2箇所 にあります。	2
12	鰐川干拓事業の工事は、1919年(大正8年)から1933年(昭和8年)にかけて行われました。その事業に中心となって関わった人物が高松村谷原の 野口準 と、息栖村下幡木の馬場 要之助の二人でした。	4
13	平成30年4月1日に鹿嶋市指定文化財に新たに「明石の百庚申」が指定されました。百庚申は、青面金剛像(しょうめんこんごうぞう)が彫られた石塔10基と庚申(こうしん)という文字が彫られた石塔90基の合計 100基 からなる庚申塔群で、江戸時代後期に奉納されたものです。このように多くの庚申塔がまとまって所在するのは、茨城県内ではほとんど例がなく、たいへん貴重なものです。	3
14	文化財愛護のために「じしんよけなら 要石 」があります。要石は、鹿島神宮境内にある霊石で、古来、地震抑えの石として有名です。俗説には、地下の鯰(なまず)の頭を抑えているので鹿嶋には地震がないと言われています。	1
15	鹿嶋市の海産物水揚げ量第1位は シラス 、第2位はタコ、第3位はカレイの順です。	3
16	御手洗池(みたらしいけ) は、鹿島神宮境内にある清澄なる池で、大人も子どもも水位は乳のところまでといわれています。	2
17	「 ナスカちゃん 」は、平成26年10月に鹿嶋市の公認マスコットキャラクターとして誕生しました。名前の由来は、鹿嶋市の花「ハマナス」の「ナス」と鹿嶋市の「カ」からとっています。ご当地アイドルグループ「かしま未来(みこ)リーナ」をイメージするとともに、ハマナスと鹿の精で、顔・体は小鹿で、頭にハマナスの花をつけています。	4
18	鹿島神宮の本殿の奥にある杉の巨木は鹿島神宮の御神木で 樹齢約1,200年 と推定されています。高さが約43メートル、幹周り10.8メートル、根回りは約14メートルで畳8畳分の広さです。	1
19	ユウカメロン は、メロンの中でも最高級といわれ、アントラーズメロンとして販売され、好評です。香り高く甘いので、全国的に高く評価されています。	3
20	2019年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」で鹿嶋市で行われるスポーツは サッカー です。	2
21	鹿嶋市には、 国道51号線 と 国道124号線 が通っています。	4
22	鹿嶋市の特産品「 汐菜(しおさい)キャベツ 」は、JALしおさいが研究した栽培方法で作った春キャベツで、収穫前にミネラルたっぷりの鹿島灘の海水を散布します。甘みのあるのが特徴で、苦みが少ないキャベツです。	1
23	室町時代に書かれた『御伽草子』の中の「文正草子」は角折が舞台になっています。鹿島神宮の下働きをしていた、文太が塩焼きをして長者になる話です。自給していた 塩 を各地に販売し富を得たのです。塩釜神社には塩土翁がまつられ、ここから船に塩を積んで各地に送ったともいいます。	2
24	社殿は1619年(元和5年)、江戸幕府2代将軍 徳川秀忠 公より奉納されたもので、桃山期の極彩色が華やかです。本殿・幣殿・拝殿・石の間のいずれもが国の重要文化財の指定を受けています。また、現在の奥宮は1605年(慶長10年)、徳川家康公が奉納した本殿を元和の造営の際に移したもので、国の重要文化財に指定されています。	3
25	大小志崎は、 はまなす の太平洋側における南限地として、国の天然記念物に指定されています。はまなすは、紅紫色の花を美しい花を5~7月に咲かせ、鹿嶋市の花に指定されています。	4